

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成27年 3月 9日

計画の名称	1 黒石市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度（5年間）	交付対象	黒石市
計画の目標	下水道整備を行い、安全、安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を56.6%（H23）から59.1%（H27）に増加させる。		
定量的指標の定義及び算定式	$\frac{\text{下水道処理人口普及率}}{\text{整備人口(人)/行政人口(人)}}$		

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
	56.60%	58.10%	59.10%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	112百万円	A	101百万円	B	百万円	C	11百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.8%
-------	---------------	--------	---	--------	---	-----	---	-------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H23	H24			H25	H26	H27
1-A1-1	下水道	一般	黒石市	直接	-	分流	新設	南部汚水枝線	A=9ha L=973m φ200	黒石市						88	
1-A1-2	下水道	一般	黒石市	直接	-	分流	改築	南部汚水幹線水管橋	水管橋塗装更新	黒石市			■ ■ ■			0	H27.3削除
1-A1-3	下水道	一般	黒石市	直接	-	分流	全種	調査・設計等	効率的下水道事業計画の策定	黒石市						13	
合計																101	

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							
										H23	H24	H25			H26	H27	
合計																・ ・	

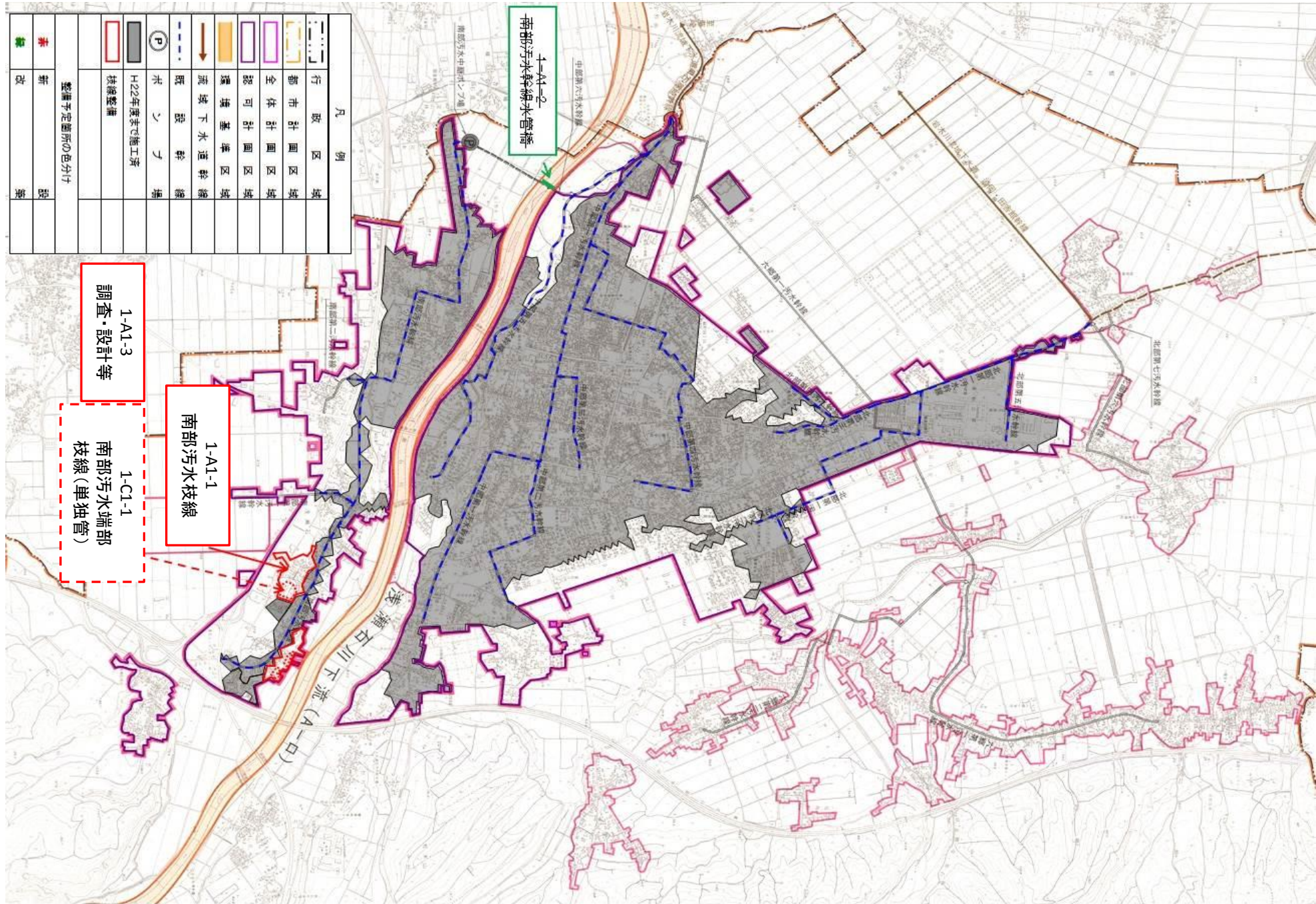
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							
										H23	H24	H25			H26	H27	
1-C1-1	下水道	一般	黒石市	直接	-	新設	南部汚水端部枝線（単独管）	A=1ha L=119m φ200	黒石市						11		
合計																11	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
1-C1-1	基幹事業である枝線(1-A1-1)と接続した端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。										

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 黒石市における循環のみちの実現	交付対象	黒石市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金 チェックシート

計画名称

黒石市における循環のみちの実現

都道府県名

青森県黒石市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
・下水道事業計画による事業認可計画面積876haのうち平成25年度末で約589haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
・地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
②定量的指標の明瞭性	○
・定量的指標は、当市の下水道の普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。	
③目標と事業内容の整合性	○
・事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。また、効率的な下水道施設の管理運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
・基幹事業の管渠と端部枝線(単独管)整備(市単独費)を一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
・工事施工区域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
・他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。	